

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2000	2,1980	2,2280	2,2460	2,2580	+0,0120
	USD/YEN	Spot	98,84	98,78	98,45	98,96	98,24	-0,7200
	EUR/USD	Spot	1,3498	1,3478	1,3531	1,3484	1,3522	+0,0038
	BRL/YEN	Spot	44,97	44,88	44,11	44,06	43,62	-0,4400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,31	1,31	1,32	1,37	1,31	-0,0552
		1Year(p.a.)	1,52	1,52	1,58	1,58	1,58	-0,0005
	Real Interest	6MTH(p.a.)	9,49	9,46	9,49	9,52	9,52	+0,0026
		1Year(p.a.)	9,92	9,85	9,88	9,98	9,95	-0,0302
Stock	Bovespa		54.602	54.431	54.261	53.783	53.739	-44,05
Bond	CDS Brazil 5y		160,67	161,71	161,71	167,48	173,84	+6,3640
	Global 40		117,625	117,500	117,400	117,500	117,250	-0,2500

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGVインフレIGPM(前月比)	1.45%	1.50%	0.15%	
FGVインフレIGPM(前年比)	4.35%	4.40%	3.85%	
融資残高	--	2578B	2545B	
中央政府財政収支	0.6B	0.1B	3.7B	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2170 で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄り付き後、ニューヨーク連銀のダドリー総裁が米経済には依然として「大幅な改善」が見られないとし、米量的緩和を支持する姿勢を示したことが好感され、レアルは買いが優勢となったほか、大口の資金流入の噂が聞かれると、レアルは 2.2000 を上抜け上昇した。
- 翌 24 日には 9 月の独景況感指数がエコノミスト予想ほど改善しなかったことが嫌気され、ユーロが下落すると、レアルもつられて売りが優勢となったが、前日同様、大口の資金流入の噂が聞かれると大きく反発、週間高値となる U\$1=R\$2.1890 を付けた。
- 週央には伯中銀がドル売り介入で全額 5 億ドルに対して 4.8 億ドルしか供給しなかったことが嫌気されたほか、企業による配当金の支払いと思しき大口の資金流出の噂が聞かれるとレアルは 2.23 台まで反落した。
- 翌 26 日には前日と異なって 5 億ドル全額を供給したことが好感されたほか、米第 2 四半期 GDP 成長率が予想を下回ったことを受けてレアル買いが優勢となった。しかし直後から大口の資金流出の噂が聞かれるとレアルは 2.24 台前半まで反落した。
- 週末にかけては米国で予算審議の難航により政府が閉鎖される可能性が浮上すると、リスク資産の売りが見られ、レアルは一気に 2.2600 まで続落した。その後一時小反発するも売り圧力は強く、レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.2640 まで下値を拡大、結局 U\$1=R\$2.2580 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧説を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生じるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/30	純債務対GDP比	Aug	--	34.1%
9/30	Nominal Budget Balance	Aug	--	-21.1B
9/30	基礎的財政収支	Aug	2.0B	2.3B
10/1	FGV CPI IPC-S	Sep 30	0.31%	0.27%
10/1	製造業購買担当者指数	Sep	--	49.4
10/1	貿易収支(月次)	Sep	\$2055M	\$1226M
10/1	総輸出	Sep	\$21000M	\$21425M
10/1	総輸入	Sep	\$18900M	\$20199M
10/1	自動車販売台数(ブラジル自動車販売)	Sep	--	329207
10/2	FIPE消費者物価指数(月次)	Sep	0.24%	0.22%
10/2	鉱工業生産(前年比)	Aug	-0.7%	2.0%
10/2	鉱工業生産(前月比)	Aug	0.4%	-2.0%
10/2	Central Bank Posts Currency Flows' Data for Prev. Week			
10/2	商品価格指数(前月比)	Sep	--	3.77%
10/2	商品価格指数(前年比)	Sep	--	5.35%
10/3	PMIサービス業	Sep	--	49.7
10/4	自動車生産台数(ブラジル自動車工業)	Sep	--	340469
10/4	自動車販売台数(ブラジル自動車工業)	Sep	--	329143
10/4	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Sep	--	64071

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.18-2.30

今週は特段材料に欠ける中、レアルはネットで資金流出が多く見られたほか、伯中銀によるドル売り介入で同中銀が全額を供給しなかったことから伯中銀は2.2000を上回るレアル水準を許容しないとの思惑が強まり、レアル売りを促した。更に米予算審議の難航を受けて米経済成長を損ねるとの懸念が強まる中、世界的にリスクオフモードの動きが見られ、レアル安に圧力がかり、2.2640まで下値を拡大した。先週の米FOMCの結果から金融緩和縮小のタイミングを巡って市場では大半が年末年始辺りを想定する中、足許では米金融緩和縮小に対する注目が薄れている。一方で今現在は米予算審議が注目され、予算が成立しなければ10月1日に政府機関が閉鎖される可能性があり、その場合には更なるリスクオフモードの動きが予想される。来週は国内では貿易収支などの重要経済指標が注目され、海外では米雇用統計のほか予算審議が引き続き注目されるため、レアル相場のボラティリティーは増加するであろう。